

会 議 録

会議名	令和8年度第1回東松山市図書館協議会					
開催日時	令和8年5月27日（水）	開 会		午後2時00分		
		閉 会		午後3時30分		
開催場所	東松山市立図書館3階研修室					
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 （1）令和7年度事業報告について （2）令和8年度事業計画について （3）第3次東松山市子ども読書活動推進計画について 4 その他 5 閉会					
公開・非公開の別	公開	傍聴者数		1名		
非公開の理由 （非公開の場合）						
参加者出席状況	会 長	金子 恒雄	出席	副会長	小金澤 史子	出席
	委 員	新井 志保	出席	委 員	野口 高志	欠席
	委 員	清水 典子	出席	委 員	藤井 晶子	出席
	委 員	菊岡 かおる	出席	委 員	関 信子	出席
事 務 局	市立図書館長 荻野 裕			市立図書館主査 佐藤 幸恵		
	市立図書館主査 岡部 宏章			市立図書館主任 篠澤 明美		
	市立図書館主任 堀 千尋					

次 第	顛 末
1 開会	事務局（岡部主査）
2 あいさつ	金子会長
自己紹介	事務局自己紹介
会議の公開、会議録署名委員の指名	会議の公開、傍聴人、会議録署名委員の指名について （岡部主査）会議を公開とするか非公開とするか、傍聴の申込みは 1 名あったこと、会議録の署名委員を指名することについて、説明。 ・会議については公開、傍聴希望者の傍聴、会議録署名委員は関委員と新井委員を指名することについて、全員了承。
3 議題	（１）令和 7 年度事業報告について （事務局 佐藤主査）説明 （関委員） 資料の 2 ページの利用支援促進の障害者サービスと 1 2 月に設置されたリンゴの棚コーナーについて、設置した反響などがあれば教えてください。 （事務局 荻野館長） 利用者からの直接の反響、感想はまだいただけていない状況です。 リンゴの棚の図書の貸し出し実績等については、年度単位で、当該分の実績を抜き出せないか、図書館システムの保守事業者に依頼中です。次回以降に報告できればと考えております。 （金子会長） 資料 5 ページの協力事業中、9 月 2 日から 1 7 日に実習生の受け入れとの記載がありますが、これは実際に実習生を受け入れたということですか。 （事務局 荻野館長） はい。聖学院大学の学生です。

	(2) 令和8年度事業計画について (事務局 佐藤主査) 説明 (金子会長) 図書館まつりの日程は。 (事務局 荻野館長) 図書館まつりは12月5日から6日を予定しております。 (関委員) 7ページの利用支援促進の高齢者サービス認知症予防関連イベントと、出前講座「本を楽しもう」、この二点について具体的な内容を教えてください。 (事務局 篠澤主任) 図書館ではいくつかの出前講座を用意していますが、高齢者サービスの認知症予防関連イベントは、「イキイキ脳トレ音読教室」という講座を行います。まず、アイウエオとの発音を皆さんで行って口を動かし、その後は生麦生米生卵などの簡単な早口言葉を皆さんで読んでいただきます。その後は田口元教育長とかかわりのあった高村光太郎の詩を皆さんで読んでいただいて、その次は昔話となります。今年度は午年ということもありますので「(旧) 都幾川村の暴れ馬」という昔話を、皆さんに読んでいただきます。その後はこちらで紙芝居の「皿屋敷のお菊」を読みます。最後にクスッと笑えるような内容のものを読ませていただいて、最後に体を動かしていただけるように、「お弁当箱の歌」をみんなで歌って終わりにしたいと考えています。 「本を楽しもう」は、声を出して本を読んでいただくこともありますが、どちらかというと、いろんな本を紹介させていただくことが多いです。内容については音読教室と同様に詩や昔話、紙芝居となりますが、音読教室よりは少し難しい内容の読み物を用意しております。一緒に読んでもらうことも可能ですし、聞いてまた読みたいなと思っていただければ良いかなと思っております。
--	--

	(関委員) 認知症予防の講師は、図書館の方が担当されているということでよろしいでしょうか。 (事務局 篠澤主任) 図書館職員が行っております。 (関委員) 「本を楽しもう」では少し難しめのものを紹介されるということですが、本の内容の紹介をされるということでしょうか。 (事務局 篠澤主任) きらめき出前講座の中に先述の「脳トレ」と同じような内容で行うものもありますが、「本を楽しもう」の講座については、少し難しいものをこちらで読むことが多くなります。 一方で聞いているだけだとつまらないと思う方もいらっしゃるので、多少は、一緒に読むといった内容も入れたいと考えております。 (関委員) 出前講座、ということは事前に依頼を受けるものですか。 (事務局 篠澤主任) (『きらめき出前講座』主管課の)生涯学習課に依頼があり、それを受けて図書館が依頼元に出向いて開催するものです。 (関委員) 参加者は高齢の方が多いのでしょうか。 (事務局 篠澤主任) 80歳を超えている方も元気に参加しております。 (事務局 荻野館長) きらめき出前講座についての補足をさせていただきますと、当館で用意しているメニューが3つあり、そのうち2つは篠澤から説明
--	--

	しましたが、残り 1 つは、「本の装備・修理講座」で、本にかけてある透明フィルムのかけ方や傷んだ本の簡単な修理方法についての講座ですが、申し込みがない状況です。 (菊岡委員) 託児サービスについては、申し込みがあった際に断ることがあります。申し込めばほぼ 100 パーセント預かってもらえるのでしょうか。 (事務局 荻野館長) 特定の 3 ～ 4 名の方が申し込んで繰り返し利用されているという状況ですので、申し込みを受けても使えないという事態は現状発生していません。 (菊岡委員) ブックスマイルで 0 歳児への読み聞かせを行う際に保護者に、託児サービスがあるという紹介をしています。もっと大々的に紹介して問題ないでしょうか。 (事務局 荻野館長) 問題ございません。補足すると、託児サービスについては曜日を変えたことにより、令和 6 年度より令和 7 年度の利用者の方が多くなっている状況です。 (菊岡委員) 保育士さんは何名体制でしょうか。 (事務局 荻野館長) 2 名となります。 (金子会長) 昨年度は図書館まつりの中で社会教育講座との共催で講演会を行いましたが、本年度も同様の予定はありますか。
--	--

	(事務局 荻野館長) 昨年度と同様に図書館まっりの講演会として実施する予定です。 (3) 第3次東松山市子ども読書活動推進計画について (事務局 佐藤主査) 説明 (事務局 荻野館長) 説明の補足となりますが、資料2-2の12問目につきましては、比企eライブラリという電子図書館の利用についての質問となります。こちらを第2次計画の中間アンケート調査時から入れております。 (金子会長) 計画というのは続けて作成するものとなり、次の計画の内容をどうするかということについてはアンケートをもとに決めていくわけです。そういった中で中身を変えていくことは難しいのかな、と考えますが、資料をご覧になった中で、感じたことなどがあればお願いします。 (新井委員) アンケートについて、幼稚園と保育園で内容が異なるかと思いますが、高坂幼稚園については本年度より認定こども園となりました。各家庭による差というのを強く感じており、幼稚園・保育園どちらで回答をすればよいのか、ということをご教示いただければと思います。 (事務局 荻野館長) 両方のご回答をいただくことは可能でしょうか。 (新井委員) 他園でどうかということはありませんが、当園では認定ごとに分けて回答することは不可能ではないかとは思っています。
--	---

	(事務局 荻野館長) 事務局でアンケートの取り方については検討させていただければと思います。 (事務局 荻野館長) また、今回の資料には記載はありませんが、子ども向けのアンケートは電子アンケートで行うことを予定しております。また、私立幼稚園の園長会議で出たご意見として、保護者向けのアンケートを行うのはどうかというものがありました。こちらでも電子アンケートでの実施について検討中であることを申し添えます。 (事務局 佐藤主査) 園長会議で発言された先生は、本を読む子と読まない子で極端な差が開いてしまっており、親の関与がどれほどのものなのかぜひアンケートを取ってほしいとのご意見でした。 (新井委員) 現在の年長組が10年前の年中組くらいのレベル、という感覚で、かなり幼くなってきているかな、という印象を持っています。 (金子会長) 幼い子どもがそのまま親になってしまい、親と子供の差がなくなっている、というような印象を受けています。いろいろな部分で狭間だな、と感じており、次の計画をどう作っていくのか、というのは大きな課題になってくる段階なのかなと考えております。 (藤井委員) 現行の子ども読書活動推進計画の会議に参加させていただきましたが、この時代は新型コロナウイルス感染症でいろいろなものが変わっており、何とか元に戻したいという思いがありました。しかしながら、やはり数値の上でも完全には戻らないということでもいろいろと厳しい意見が出ていたように思います。こういった中で新たな計画策定においてどこに基準を置くべきなのかという課題があるかと思っています。また20年ほど赤ちゃんとそのご両親と接してきてい
--	---

	ますが、子育てに関する相談を受けることが減ってきています。と申しますのも AI に訊いてしまうことが増えていると思われ、これも含めていろいろと変化が多すぎて子どもの生育にどういう影響が出るのか懸念が残るところです。 (小金澤副会長) 令和 6 年の中間報告と令和 3 年のアンケートの結果を比較して、不読率の上昇に愕然といたしました。こういった世の中の大きい流れに歯止めをかけなければ、というところでの子どもの読書活動推進であると考えますが、家庭へのアンケートというのは保護者が、子どもが本を読むということに対してどういった考えでいるのか、ということを最もよく反映できると思いますので、保育園や幼稚園の保護者だけではなく、今回アンケートの対象となっている小学生 2 年生、5 年生の保護者に対しても同様のアンケートを実施するのが読書環境を整備するうえでも大変重要なことなのではないかなと考えます。 (金子会長) 図書館協議会の委員からはこのような意見がありましたが、この意見を尊重いただき、計画策定につなげて頂きたいと思います。
4. その他	(事務局 佐藤主査) 次回会議の日程、10 月下旬で調整
	(事務局 荻野館長) あいさつ
5. 閉会	(事務局 岡部主査)
上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。 令和 8 年 6 月 11 日 署名 関 信子 署名 新井 志保	